

シルバー須高

第68号

(公社)須高広域シルバー人材センター
広報委員会

暑中お見舞い申し上げます

「村山早生ごぼう」玄派に育ってくれ!!
今日の仲間からの頂戴物は「二十日大根」と
「松本1本ネギ・下仁田ネギ」の苗だ!!



シルバー農園(村山農園)草取り作業終了後、畑の中央にて



シルバー人材センター
(愛称「生き生きセンター」)

目次

- P 2 理事長あいさつ
令和4年度定時総会
令和4年度定時総会開催される
令和3年度事業報告
- P 3 令和4年度の事業計画
- P 4 サークル活動紹介・会員の声

- P 5 高齢者活躍人材確保育成事業
初心者向け植木剪定講習会について
豆知識コーナー「事業の仕組み」
b o t aにて野菜を販売
- P 6 会員募集・シルバー業務のご案内
編集後記



定時総会(令和4年5月27日)

令和4年度定時総会 理事長あいさつ

3年ぶり一堂に会しての定時総会開催

理事長 田中 政義

令和4年度の定時総会は、完全の感染防止対策を施し、シルバー会員の全員に参加を求め、須高3市町村長をはじめとする大勢の来賓のご臨席を賜り、令和元年度以来3年ぶりに一堂に会して開催することができました。ご参加された会員の皆さまとご臨席いただきました来賓の皆さまに心より感謝を申し上げます。

さて、長引くコロナ禍の影響を受けた上に、新たに原油高、円安などの経済環境に加え、会員の減少や高齢化、後継者不足といった

問題が益々顕在化してきており、シルバー事業運営の先行きに大きな不安要素が増しております。

しかしながらシルバー事業の推進を図る上で最も重要な会員拡大と就業機会の確保に、役職員をはじめ全ての会員とともに、あらゆる機会を捉え、あらゆる手段により、会員拡大や就業先の開拓などに取り組むとともに、引き続き、研修会による後継者の育成や、サークル活動、ボランティア活動の充実など退会抑制にも努めてまいります。

令和4年度定時総会開催される

5月27日、須高市文化会館メセナホールにおいて、令和4年度の定時総会が開催されました。

本年度は、令和元年度以来3年ぶりの参加規模で、当日の会員数637人のうち、三分の一に当たる218人の会員が出席されました。

議長には小布施地区小布施A班の根津俊男さんが選出され、「令和3年度事業報告・収入支出決算」のほか、「理事の選任」が原案通り承認され、「令和4度事業計画・収入支出予算」、「第四次中

期(5か年)計画の見直し」等が報告されました。

また、定時総会終了後、これも令和元年度以来3年ぶりとなりま

令和3年度事業報告

会員拡大を最重要課題として、会報やホームページの活用、高齢者活躍人材確保育成事業の活用、入会説明会開催回数増、入会の迅速な承認、会員ひとり一会員拡大活動等により会員の拡大に取り組んできました。その結果、61人の新規入会者があったものの、退会者が95人となり入会者を上回ったことから、残念ながら会員数は前年度末と比較し34人減となりました。病气などで退会される会員が増加していることから会員自らの日頃の健康管理が重要となっております。

事業面では、請負・委任事業でコロナ禍の影響や会員不足や高齢化の影響を受けたことから事業収入は2億8935万5千円となり、前年度対比2・5%の減となりました。しかし、派遣事業の契約額が伸びたため、派遣と合わせた合計は3億1820万8千円となり、前年度対比では1・7%の減にとどめることができました。会員の皆さんのご努力によるものであります。

安全就業では、コロナ禍により「安全就業推進大会」が中止、事

す「みつば会童謡唱歌を歌う会の発表」や「お楽しみ抽選会」のアトラクションを行いました。

故を未然に防ぐための危険予知訓練(KYT)も十分に実施できなかったものの事故件数は4件で、前年同期と同数となりました。

理事の選任

理事の辞任に伴い、理事1人の選任について提案し承認されました。



会員席(感染防止のため空席を設けました)

令和4年度の事業計画

多様化する地域のニーズに応え、シルバー人材センターを維持発展させていくため、第四次中期(5か年)計画に沿って、会員の拡大と後継者の育成、就業機会の確保を最重要課題として取り組むとともに、人手不足分野や現役世代を支える分野で高齢者の就業を促進し、家事支援事業の充実、地域のニーズに対応した事業の推進、独自事業の推進、シルバー派遣事業の推進など、積極的な事業展開に努めます。

更に、会員・役員が一人丸となって安全就業を徹底し、公益性、透明性を重視した確実な運営に努めます。

め、地域に開かれたシルバー人材センターを目指した取り組みを展開します。

基本計画

■組織活動等の充実、会員の拡大
組織活動や地域班活動等の充実、活性化に取り組み、会員の資質向上を図るとともに、社会のニーズに対応した就業と地域社会に貢献する会員の入会促進に努めます。

就業開拓の推進

■独自事業の推進、関係機関と連携した就業機会の拡大、派遣事業の推進などに取り組むほか、同世代を支える事業、人手不足を支える事業、次世代を支える事業の取り組みについて研究していきます。

安全・適正就業の推進

「安全は全てに優先する」をモットーに、安全ニュースの発行や作業ごとの安全基準づくりなどを通じ、安全就業基準の遵守と会員の安全就業意識の高揚に努めます。

普及啓発活動の推進

様々な媒体を通じた情報提供・情報発信や、ポランティア活動、イベント等の参加などによりシルバー事業の普及啓発に努めます。

見直した内容は、基本目標である「会員数」の計画期間中の到達目標値のうち、令和4年度目標の数値「840」を「658」に改めました。なお、基本目標は、「会員数」「就業率」「契約金額」「会費」「事務費」の5項目があります。

第四次中期(5か年)計画の見直し

■地域に開かれたシルバー人材センター事業の推進
交流事業や公開講座、ポランティア活動などにより、地域の方々と交流し、地域に開かれたシルバーを目指します。



表彰式

■センター事業に積極的に寄与した会員等を表彰しました。表彰規程に基づき賞状と記念品を贈りました。(敬称略・順不同)

■会員表彰(理事・監事5年以上在籍・表彰状)

- 小林 雅子 (須坂市東横町)
- 坂田 久雄 (須坂市豊丘上町)
- 古平 幸正 (須坂市村山町)

■会員表彰(20年以上在籍・表彰状)

- 菊田ハルミ (須坂市境沢町)
- 久保田信義 (須坂市大谷町)
- 関野 武正 (須坂市塩川町)
- 遠藤 初枝 (須坂市北原町)
- 小林 栄 (小布施町松村)

■会員表彰(15年以上在籍・感謝状)

- 黒岩 俊雄 (須坂市八重森町)
- 桜井千恵子 (須坂市豊丘町)
- 伊熊 武重 (須坂市豊丘町)
- 彦坂 亮 (須坂市大日向町)
- 木村 善行 (須坂市高梨町)
- 宮本 和久 (須坂市南原町)
- 越 正行 (須坂市馬場町)
- 村山 菊井 (須坂市豊島町)
- 吉野 静子 (須坂市屋部町)

■定時総会にて、理事が選任され、総会終了後に開催された臨時理事会で専務理事が選任されました。

- 前専務理事 返町 俊昭 本郷町
- 新専務理事 西原 孝一 塩川町

サークル活動紹介

ゴルフクラブ

会長 藤田 利男

家庭内で過ごす時間が多く、運動不足になりましたが、6月に入り県内の市町村で新型コロナウイルス感染症が縮小傾向となり、全体に落ち着いている状態で、ようやく長いトンネルからぬけ出るのも近いと思います。

毎日元気良く過ごす健康第一の今の生活を大事に維持するため、油断せず、感染防止対策を徹底して減少傾向に拍車がかかる様に貢



献したいと思えます。ゴルフクラブも約一年以上活動を中止しざるをえませんでした。6月21日、妙高カントリークラブで今年第1回目が開催できました。会員とのふれあいができ楽しい時間でした。初夏の新鮮の中で和気あいあいと思いきりプレーする事ができました。会員の親睦を深め一日楽しくゲームができた一日でした。

みつば会ゴルフクラブは会員13名の仲間です。活動しています。毎月のシルバー事務局よりで、開催の日時をお知らせします。是非、シルバーに入会しゴルフクラブの楽しい活動に参加してください。お待ちしております。

会員の声

シルバー会員になって良かったと

しみじみ思うこと

村山農園副園長 吉池 武

私がシルバー会員になったのは、後期高齢者となった年の平成28年4月であり現在7年目を迎えています。入会の動機は、老いて賞味期限の切れた気力・体力の健康増進の思いからです。最初の就業は、会員が不足していたブルーインの共撰作業を引き受け、以来5年間従事しました。また、センターの各種行事や公開講座・交流会に参加し、多くを学ばせて頂きました。

現在、私は、シルバー農園の一つの村山農園(黒岩彦二園長・主力作物は村山早ごぼう)で、家が近いという理由で副園長を仰せつかり、今が盛りの信州の伝統野菜・八町きゅうりを担当して、毎朝5時起きで収穫・出荷作業を頑張っています。

会員になって良かったと思う第一番は、気力・体力の充実強化が出来たことです。人間は、やはり身体を動かし働くことが心身の維持管理には大切です。真夏の作業は厳しいものですが、自分一人で体操などして体力づくりに頑張れと言われても中々出来ませんが、時間を守り責任を持つての作業は、張り合いがあり自然に健康づくりに繋がります。お陰様で弱り切っていた足腰もすっかり丈夫になり、早寝早起きのメリハリのある楽しい生活が出来ています。

第二番目は、良い仲間作りが出来たことです。会員の皆さんは、現役時代には、それぞれのお立場で様々な苦難を乗り越え厳しい時代を生き抜いて来た経験豊かな人ばかりです。会員相互のコミュニケーションを深め、それぞれの生き様から多くを学ばせて頂きましたし、仲間との飲み会やカラオケなど余生を楽しみむすべも増えました。

次に3番目ですが、春秋の野菜の育て方公開講座やシルバー農園での色んな野菜の栽培実体験を通じて、様々な野菜の栽培技術を学び、家庭菜園で実益を兼ねての趣味の園芸を楽しんでいます。今私の菜園では20種以上の野菜を栽培しています。

しみじみとシルバー会員になって良かったと思っています。皆さんもぜひとも気力・体力を自覚めさせて、死ぬまで生きている一度しかない自分の人生を元気で心豊かに過ごして欲しいと願っています。



高齢者活躍人材確保育成事業

**参加費
無料**

暮らしに役立つお掃除講座

須高地区在住の概ね60歳以上の方が対象です。

日々の生活や、様々な分野のお仕事でも欠かす事の出来ないお掃除スキルを学ぶ講座です！プロのおそうじマイスターから学ぶ暮らしに即役立つ技術やノウハウを学びましょう！！この講座の経験を活かしてシルバー会員としてお掃除のお仕事に取り組んでみませんか？

11月1日(火)～2日(水)

場 所 須坂市福祉会館 (須坂市馬場町1218)

参加人員 10～15名

講 師 株サニクリーン甲信越 様



初心者向け植木剪定講習会について

現在講師との日程調整中ではありますが、9月～10月にかけて2日から3日の初心者向け植木剪定講習会を検討中です。

植木剪定に興味はあるけど何から始めたらいいかわからない、これを機に剪定の勉強をしてみたいといった方、先ずはお気軽にお問い合わせください。

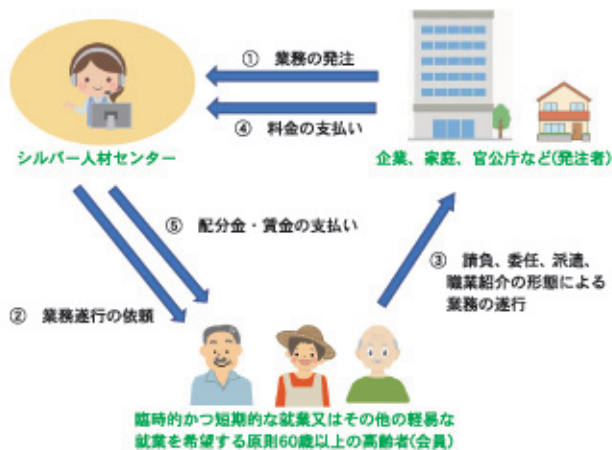
※実技講習と座学講習、定員は10名程度を予定しております。

お問い合わせは026-246-2003 須高広域シルバー人材センターまで！！

豆知識コーナー

「事業の仕組み」

シルバー人材センターは、企業、家庭、官公庁などから業務を受注し、それらを、請負、委任、派遣、職業紹介の形態により、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な就業を希望する高齢者(会員)に、働く場を提供します。



臨時的・短期的な業務	おおむね月10日程度以内
軽易な業務	おおむね週20時間を超えないことを目安

須坂駅前シルキービル

botaにて野菜を販売中!!

(ぼーた)

○毎月第2・第4週の水曜日に会員さん手作りの採れたて新鮮野菜を販売しています。

○どれも1袋100円均一!!
安価で販売!!



※bota…2022年7月、須坂駅前シルキービルに誕生した子育て支援センターや多目的交流スペースなどが入った複合施設

入会説明会(各事務所)

(原則毎月第3水曜日)

13:30~(2時間位)

8月17日

9月14日(須坂本所のみ)

9月21日

10月19日

11月16日

12月21日

1月18日

会 員 募 集

公益社団法人 須高広域シルバー人材センター

〒382-0076 長野県須坂市馬場町1218番地(須坂市福祉会館内)

TEL:026-246-2003(代)

FAX:026-246-2579 E-mail:sukou@sjc.ne.jp URL https://webc.sjc.ne.jp/sukou/
小布施事務所(老人福祉センター桃源荘内) 開所日:月・水・金曜日 8:30~12:00

高山事務所(保健福祉総合センター内) 開所日:火・木・金曜日 13:00~17:00

- ◆ 須高地区に在住している60歳以上で、趣旨に賛同いただける方
- ◆ 入会説明を受け、入会申込書を提出した方
- ◆ 定められた会費の納入をいただける方(年会費3,000円)

※ 1か月一人当たり平均30,000円位の配分金を得ております。(令和3年度実績)

請負・委任事業



宛名書き・賞状書き



皿洗い・給食作業・賄・配膳



施設管理



刃物とぎ(包丁・かま・なた)



植木剪定・消毒
障子・襖の貼り替え



福祉・家事援助



屋内外の簡単な作業



草取り・草刈り・農作業

この他の仕事についてもセンターへご相談ください

シルバー派遣事業

請負による形態でお仕事がお引き受けできない「指揮命令を伴う作業」や「従業員との混在作業」などは、労働者派遣事業として就業することができます。多様なニーズに応えることが可能となっていますのでご利用ください。

表紙の写真



シルバー農園(村山農園)作業

6/21、シルバー交流・農園運営委員の仲間が中心となり、信州伝統野菜「村山早生ごぼう」栽培畑にて、除草作業を行いました。

「ロシアがウクライナに攻め入った」薄暗い早朝の出来事。20年以上君臨する理不尽な行い、実際に戦争を知らない世代が大多数の今、決して目をそらしてはいけません。他人事と思っははいけないと思ひます。一日も早く平和な日々が訪れる事を願ひます。

(小林)

編集後記

いつまで続くかわからないコロナ禍のマスク生活。そんな中多くの方々の熱意が実り、「御柱祭」「善光寺御開帳」地域の「御柱祭」がさまざまな規制の中開催されました。新緑も手伝ってか気持ちりが晴ればれとしました。